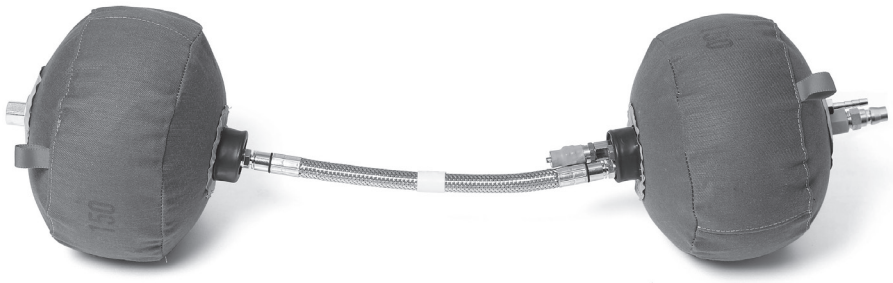
Asada
環境を守る親切ツール

溶接治具

パージダム

取扱説明書



【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

IM1401

パージダム

安全にご使用いただくために

このたびは、パージダムをお買い上げいただきましてありがとうございます。

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- 適切な取扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしてください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- 本機を用途以外の目的で使わないでください。
- 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
  - ご注文の商品の仕様と違いはないか。
  - 輸送中の事故等で破損、変形していないか。
  - 付属品等に不足はないか。

万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
（本書記載内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。）

警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、次の 2 つのレベルに分類されます。

⚠ 警告 本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。

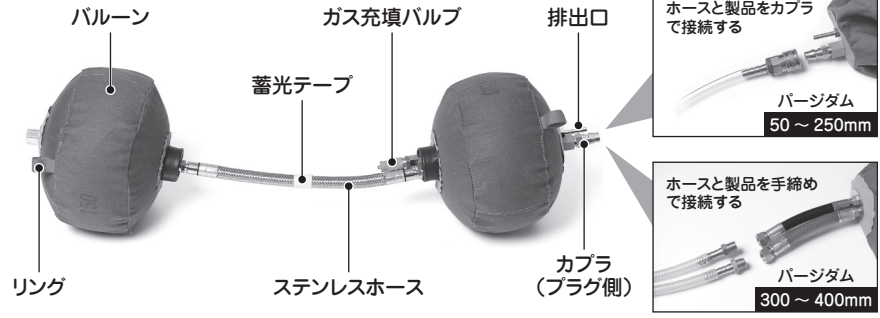
⚠ 注意 本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、軽症または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状態。または、本機に損傷をもたらす状態。

目　次

製品の構成 2
　各部の名称 2
　仕　様 2
　標準付属品 2
　別販売品 2
準　備 3
　バルーンのサイズをかえる 3
　ホースの接続 4
使用方法 5
保守・点検 7

製品の構成

各部の名称



仕　様

コード No.	品　名	適用口径	追加充填ホース	ホース接続側	バルーン接続側
S786000	パージダム50mm	50mm	無	φ9mm（ソケット）	PT1/4"（プラグ）
S786001	パージダム75mm	75mm			
S786002	パージダム100mm	100mm			
S786045	パージダム125mm	125mm			
S786003	パージダム150mm	150mm			
S786004	パージダム200mm	200mm			
S786005	パージダム250mm	250mm			
S786006	パージダム300mm	300mm	有	1/4"、3/8"	PT1/4"
S786007	パージダム350mm	350mm			
S786008	パージダム400mm	400mm			

標準付属品

コード No.	品　名	備　考
IM0264	取扱説明書	－
S7060	カプラソケット	50 ～ 250mm の製品に各 1 ヶずつ同梱されています。
S7061	カプラプラグ	
S779358	ホースプラグ	300 ～ 400mm の製品に各 2 ヶずつ同梱されています。

別販売品

コード No.	品　名	備　考
S779281	酸素モニター	配管内の酸素濃度を測定します。
S7050	アルゴン調整器キット	ボンベからアルゴンガスを出す際の流量計付調整器とホース（5m）のセットです。

パージダム

準　備

⚠ 警 告

◆アルゴンガスが密閉した部屋に大量に放出されると、過飽和を起こし、窒息する可能性があります。

◆適切に換気した状態でアルゴンガスを使用してください。

濃度の高いアルゴンガスを吸引すると、めまい、吐き気、嘔吐、意識を失う可能性があります。

⚠ 注 意

◆溶接､切断時にアルゴンを使用すると､危険性のある蒸気が発生する可能性があります。

短時間でも蒸気を吸い込むと、めまい、吐き気、鼻、のど、目の乾燥、かゆみ、またそれに似た症状が起こります。

◆ステンレス溶接時には、配管内をきれいにしてください。

汚れが残ったまま溶接をすると、溶接の仕上がりが悪くなります。

◆新設の配管溶接に使用してください。

配管修理時に使用すると､配管内のオイルや水分がバルーンに吸収され寿命が低下する可能性があります。

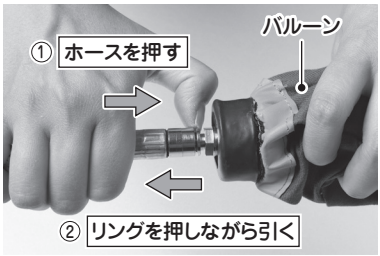
バルーンのサイズをかえる

●異なるサイズの配管を溶接する際、バルーンを取外して交換できます。

［バルーンを外す］

① ホースをバルーン側に押し当てた状態で、

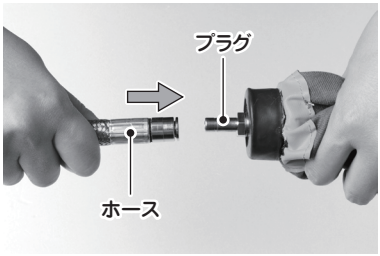
② リングを指で押しながらホースを引いてください。



［バルーンを取付ける］

ホースをバルーン側のプラグの奥まで挿入します。

ホースを引っ張ってもバルーンが取れないか確認してください。



ホースの接続

① 調整器をボンベに取付ける。

調整器は別販売品のアルゴン調整器キットもしくは市販の調整器で、流量計がついているものをご利用ください。

⚠ 注 意

◆調整器は 2 段階に圧力を調整できるものをご利用ください。

② 調整器からのホースにカプラおよびホースプラグを取付けます。

■ 50 ～ 250mm の場合

プラグをパージダム側に、ソケットをホース側に取付けます。

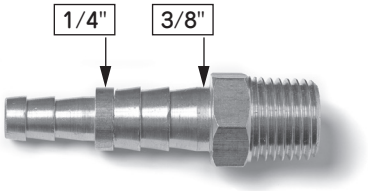
■ 300～400mmの場合

ホースプラグをホースに差込みます。

ホースプラグは2段階になっています。

1/4"のホースに接続する場合は、1段目までホースが差込めます。

3/8"のホースに接続する場合は、2段目までホースが差込めます。



ホースプラグ

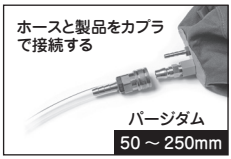
③ ホースとパージダムを接続します。

■ 50 ～ 250mm の場合

カプラを接続してください。

■ 300～400mmの場合

ホースを手締めで接続してください。



⚠ 注 意

◆バルーンをカプラから取外すとホースからアルゴンガスの放出は止まり、調整器の流量計も 0 になります。再度パージダムに接続するとアルゴンガスがバルーン内に流れます。ソケットをホースに取付けている際は、流量計が 0 でも流量を上げないでください。

15L/ 分以上のアルゴンが流れるとバルーンが破損する可能性があります。

パージダム

使用方法

①パイプの位置合わせをし、溶接に必要となる適切な隙間を空けます。

②パイプの中にパージダムを入れます。

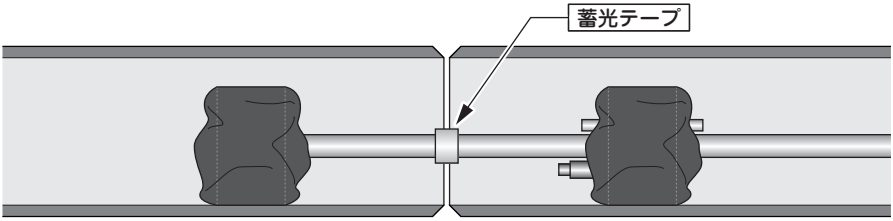
パージダムを長い配管内に入れる場合は、リングにロープをつないでおくと、簡単に取り出せます。

排出口から酸素濃度を計測したい場合は、先にプローブを排出口に接続してください。

③パージダムを適切な位置に移動させます。

溶接する箇所を中心にしてバルーンが均等に位置するようにしてください。配管の隙間から蓄光テープが見えるとちょうどパージダムが中央にきます。

※ バルーンは難燃性コットンを使用しているため、燃えることはありません。



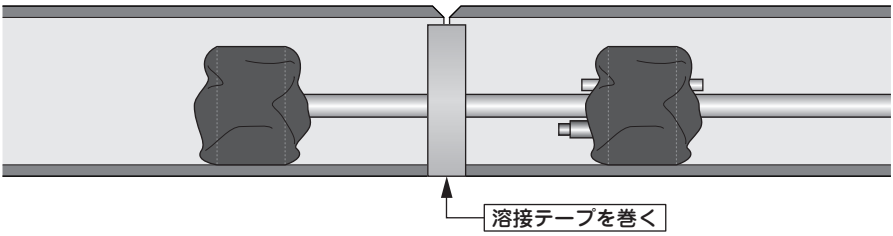
⚠ 注 意

◆パージダムが必ず中央に位置するようにしてください。

バルーンが溶接箇所に近すぎたり、溶接箇所の真下にバルーンがあると製品の寿命を縮め、損傷の原因となることがあります。

④溶接テープを巻きます。

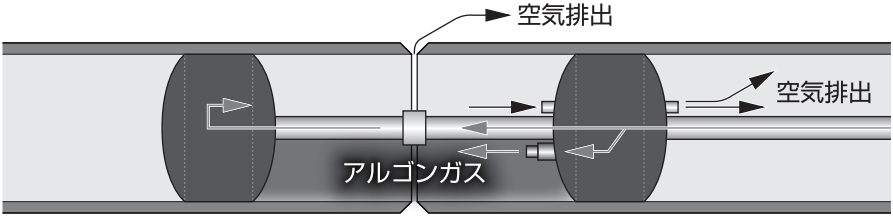
溶接テープでパイプの一部を残し隙間を埋めます。
テープを貼らない場所から溶接作業を始めます。



⑤ガスを注入する。

調整器のバルブが回らなくなるまで緩んでいることを確認してから、ボンベのバルブを開けてください。

注入時、アルゴンガスの流量は **5-15L/ 分** に合わせてください。配管の隙間や、排気ホースから空気が排出されます。手を当てると空気が排出されるのがわかります。



⚠ 注 意

◆ガスの流量を 15 L / 分以上にしないでください。
製品を損傷させる可能性があります。

◆バルブを操作して多くのアルゴンを充填しないでください。
パージダムのガス充填バルブは適切な量のアルゴンガスが排出されるようになっています。

◆下記の最大使用圧力以上のアルゴンを注入しないでください。
バルーンが破裂する恐れがあります。

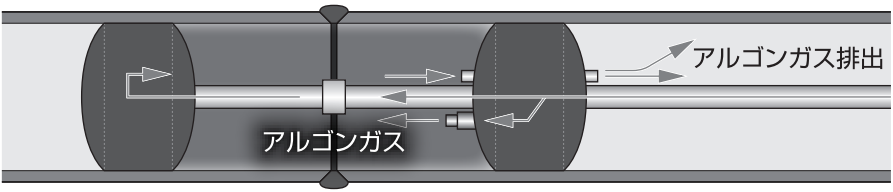
⑥酸素モニター等で、配管内の酸素濃度が適切な数値に達したら、アルゴンガスの流量を **5-10L/ 分** に合わせてください。

⑦溶接を開始する。

溶接テープを貼っていない位置から徐々に溶接を始めてください。仮付けをしていくと、空気の出口が多くなり、アルゴンガスの流量が減っていきます。逐次、調節器のバルブを操作し、流量を調整してください。

⑧配管を冷ます。

溶接が完了してもすぐにパージダムを引き出さないでください。酸化を防ぎ、溶接部分を冷却するため、5 分程、アルゴンガスを排出し続けてください。



⑨パージダムを配管から取り出す。

調整器を閉じ、ガスの充填を止めてください。ホースを取外してバルーン内からアルゴンガスを排出してください。数分後、ガスが排出されたら配管からパージダムを取り出してください。

保守・点検

●以下の箇所を定期的に点検し、適時修正または交換を行ってください。

・バルーンが焦げ、穴が開いている。

・ガス充填バルブが損傷している。

・ガス充填バルブが緩んで流量が変わっている。

・ホースに亀裂が入っている。

・バルーン気密試験方法

①アルゴンガスもしくは空気を 5L/ 分で 3 ～ 10 分流してください。

※エアーコンプレッサを使用する際は、圧力が 0.1MPa 以下であることを確認してください。

②バルーンに穴が空いている場合、バルーンは膨らみません。極小の穴があいている場合、偏ってバルーンが膨らみます。

これらの点が見受けられた場合、お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号　：
購入年月日：　　年　　月　　日
お買い求めの販売店

Asada アサダ株式会社

本　社／名古屋市北区上飯田西町3-60　TEL(052)911-7165　E-mail:sales@asada.co.jp

支　店／東京・名古屋・大阪
営業所／札幌・仙台・さいたま・横浜
広島・福岡

www.asada.co.jp

海外事業所
アサダ・タイランド社　(バンコク)
台湾浅田股份有限公司　(台　北)
アサダ・アーロンコ マシナリー社　(クアラルンプール)
アサダ・ベトナム社　(ホーチミン)
アサダ・インド社　(ムンバイ)
上海浅田進出口有限公司　(上　海)
アサダ USA　(オレゴン州・ユージン)

工　場
犬山工場　(愛知県・犬山市)
第一精工株式会社　(松　阪　市)
アサダ・マシナリー社　(バンコク)

コード No. IM0264
A